

マタイ 23

主の呼びかけに 応えた者とは？

マタイ福音書9章9～17節 メシアの宣教 マタイの召命

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. マタイの召命 9:9～13

II. 三つのたとえ 9:14～17

III. まとめと適用

主の呼びかけに

応えた者とは？





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



マタイ福音書によるメシアの生涯 (時系列より内容重視)

	章	時代	おもな内容
出生	1~2	誕生	エレミヤの召命
大衆伝道 (公開)	3~4	宣教の開始	バプテスマ、悪魔の誘惑、ガリラヤへ
	5~9	宣教	山上の説教(5~7)、 メシア的奇跡(8~9)
	10~12	衝突	12弟子の派遣、 ベルゼブル論争
	13~20	弟子訓練	たとえ、信仰告白、山上の変容
	21~25	最後の論争	エルサレム神殿での最終論争
弟子訓練 (限定)	26~27	受難	最後の晩餐、裁判、十字架と葬り
	28	復活	復活、弟子たちへの最後の命令

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

ミナのととえ

ザアカイの回心

山上の変容

ペトロの信仰告白

五千人の食事

たとえ話

安息日(律法解釈)論争

メシア的奇跡

ガリラヤ伝道開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

最後の晩餐

エルサレム入城

紀元70年
エルサレム陥落

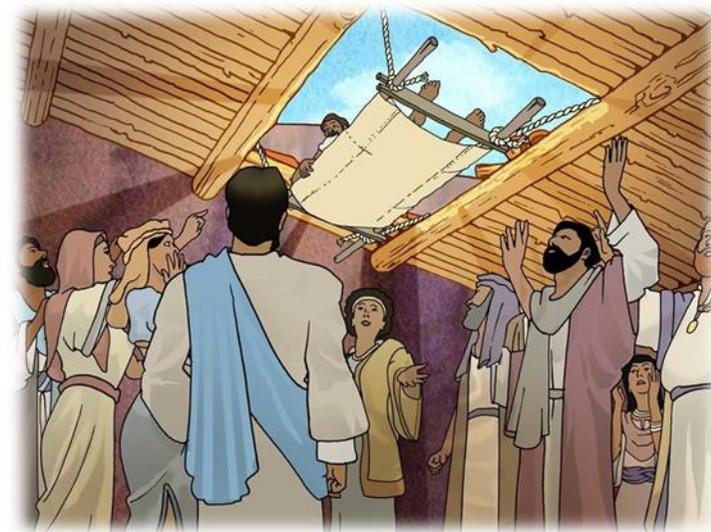


9章の流れ

① 中風患者の癒し(1～8節)

② マタイの召命(9～13節)

③ 批判に対する三つのたとえ(14～17節)



※ 並行箇所 …マルコ2章1～22節、ルカ5章17～39節

■ この三つの出来事の順番は、共観福音書で共通!!

➔ 確かに、この順番で起こった!! 一日の出来事!!



Ⅰ. マタイの召命

マタイ福音書9章9～11節

取税人の商売道具

本編 取税人マタイ マタイ9:9a

イエスはそこから進んで行き、マタイ*という人が収税所に座っているのを見て…

*“マティテヤ”…“ヤハウエの贈り物”

レビ族の名(1歴9:31他)

別名：アルパヨの子レビ(マルコ2:14)

- 12弟子では、マルコ、ルカも、マタイ
→ 主イエスは、マタイと呼んだのだろう。
- 「レビという取税人(ルカ5:27)」
→ **レビ族の末裔が、ローマの取税人に!?**



本編 取税人マタイ マタイ9:9

イエスはそこから進んで行き、マタイという人が収税所に座っているのを見て、「わたしについて来なさい*」と言われた。すると、彼は立ち上がってイエスに従った。

*「わたしに従いなさい(口語、新共)」

…従って来なさい。明白な弟子の勧誘。

▼ヨルダン川でピリポに(ヨハ1:43)

▼ガリラヤ湖畔でペテロに(ヨハ21:19)

■「すべてを捨てて従った(ルカ5:28)」



レビ族本来の
使命に立ち返った

取税人とは？

■ 税金を取り立てる者

- ① ローマの税 → マタイ?!
- ② 領主の税 (ヘロデ・アグリッパ王)

■ 二種類の税

- ① 所得税 → ザアカイ?!
- ② 通行税 → マタイ!!

■ 前払いで徴収権を得た。回収できなければ損失 → 取り立て屋!!

余計に徴収した分は、自分のポケットに。

→ 一度シマを失ったら復帰は不可能。文字通りすべてを捨てた!!



本編 食卓で マタイ9:10

イエスが家*の中で食事の席に着いておられたとき、見よ、取税人たちや罪人たちが*が大勢来て、イエスや弟子たちとともに食卓に着いていた。

*「レビは、自分の家でイエスのために盛大なもてなしをした。ルカ5:29」

*律法(&口伝律法)違反が常態化した人々…遊女など



本編 パリサイ人 マタイ9:11

これを見たパリサイ人たち*は弟子たちに、「なぜあなたがたの先生は、取税人たちや罪人たちと一緒に食事をする*のですか」と言った。

*パリサイ派の律法学者たち
(マルコ2:16)

*食事とは、一体化
律法の食事規定→異邦人と区別

■取税人や罪人と一体化
→お前も罪人になるぞ、と!!



メシア調査は
②審問 の段階に!!



II. 三つのたとえ

マタイ福音書9章12～17節

カペナウムの湖畔

本編 医者と病人 マタイ9:12

イエスはこれを聞いて言われた。
「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人です。」

- メシアは、病んだイスラエルを癒やす医者である。
- 病んではないないと主張すれば、メシアとは無関係な存在に!!



カペナウムの湖畔

本編 罪人を招くため マタ9:13

『わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない*』とはどういう意味か、行って学びなさい*。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためです。』

*ホセア書6:6

➡「イスラエルへの厳しい裁き」

*生涯を学びに献げた律法学者へ!!

■ 罪人という自覚のない者に、
メシアの救いは届かない。



審問の段階で調査
官と激突!!

カペナウムの湖畔

主イエスの引用は、イスラエルへの厳しい裁きの警告

■ホセア書6:6～11

わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない。全焼のささげ物よりむしろ、神を知ることである。

ところが、彼らはアダムのように契約を破り、そこでわたしを裏切った。ギルアデは不法を行う者の町、血の足跡に満ちている。

盗賊が人を待ち伏せするように、祭司たちは徒党を組み、シェケムへの道で人を殺す。彼らは実に淫らなことを行う。

イスラエルの家にわたしはおぞましいことを見た。エフライムはそこで姦淫をし、イスラエルは汚れてしまった。

ホセア書とは？

■ 預言者ホセアの活動時期

➔ アッシリア捕囚直前

北王国イスラエルの滅亡を目撃

■ 姦淫の女と結婚 ➔ イスラエルの偶像礼拝を糾弾

■ ホセアの預言は、神からイスラエルの最後通牒

「あなたがたこそ姦淫の罪人だ」 ➔ イエスの指摘

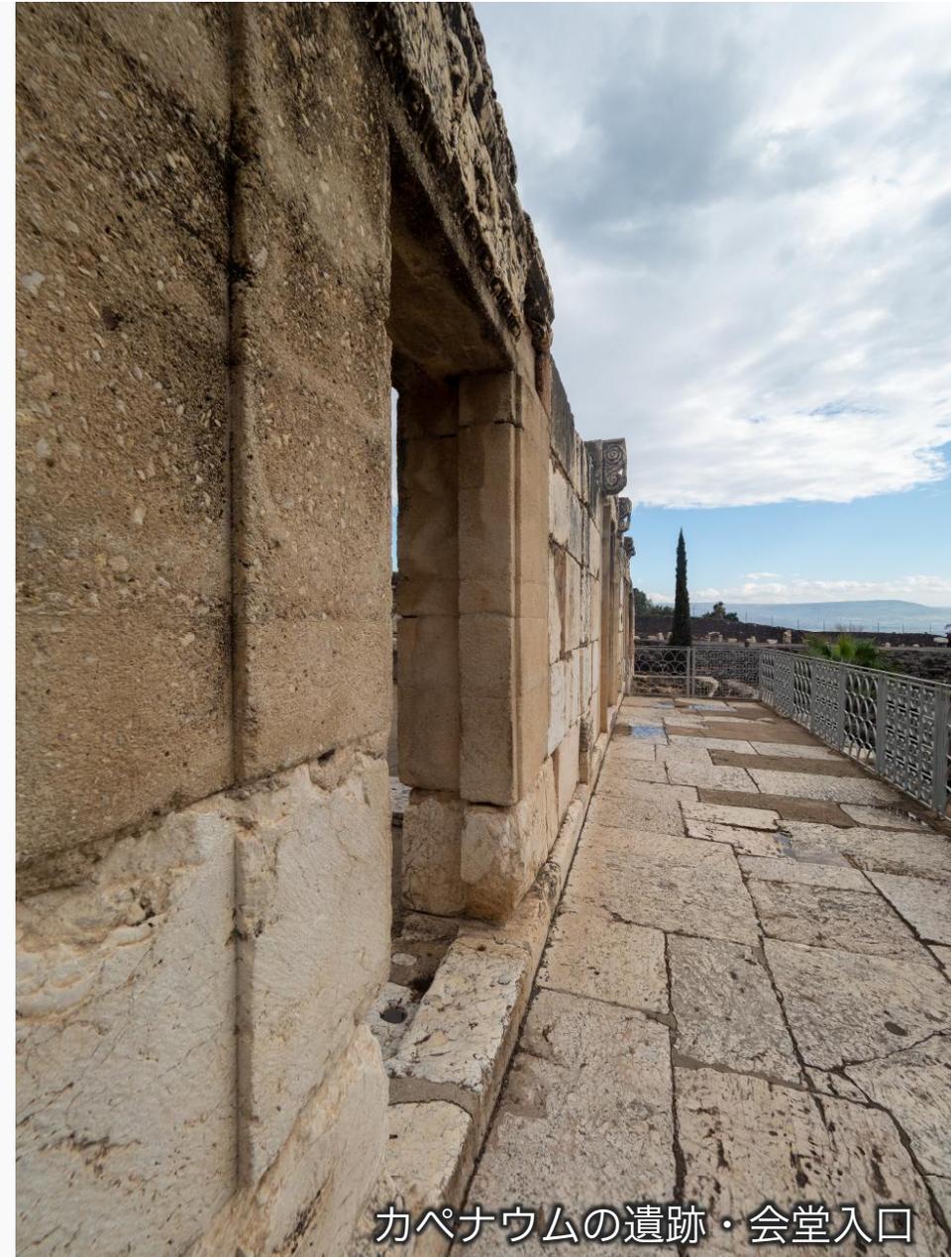
本編 ヨハネの弟子 マタイ9:14

それから、ヨハネの弟子たちがイエスのところに来て、「私たちとパリサイ人はたびたび断食*をしているのに、なぜあなたの弟子たちは断食をしないのですか」と言った。

*ペテロたちも元はヨハネの弟子

*本来、全身全霊で祈るための断食
…必死の誓願。重い罪の悔い改め。
喪に服す。深い悲嘆の表明。

■断食が単なる儀式と化していた!!



カペナウムの遺跡・会堂入口

本編 花婿の死 マタイ9:15

イエスは彼らに言われた。

「花婿*に付き添う友人たちは、花婿と一緒にいる間、悲しむことができるでしょうか。しかし、彼らから花婿が取り去られる日が来ます。そのときには断食をします。」

*メシア

■ はじめて自らの死を告げるイエス

➔ 弟子たちが断食するのは、

メシアの死の時

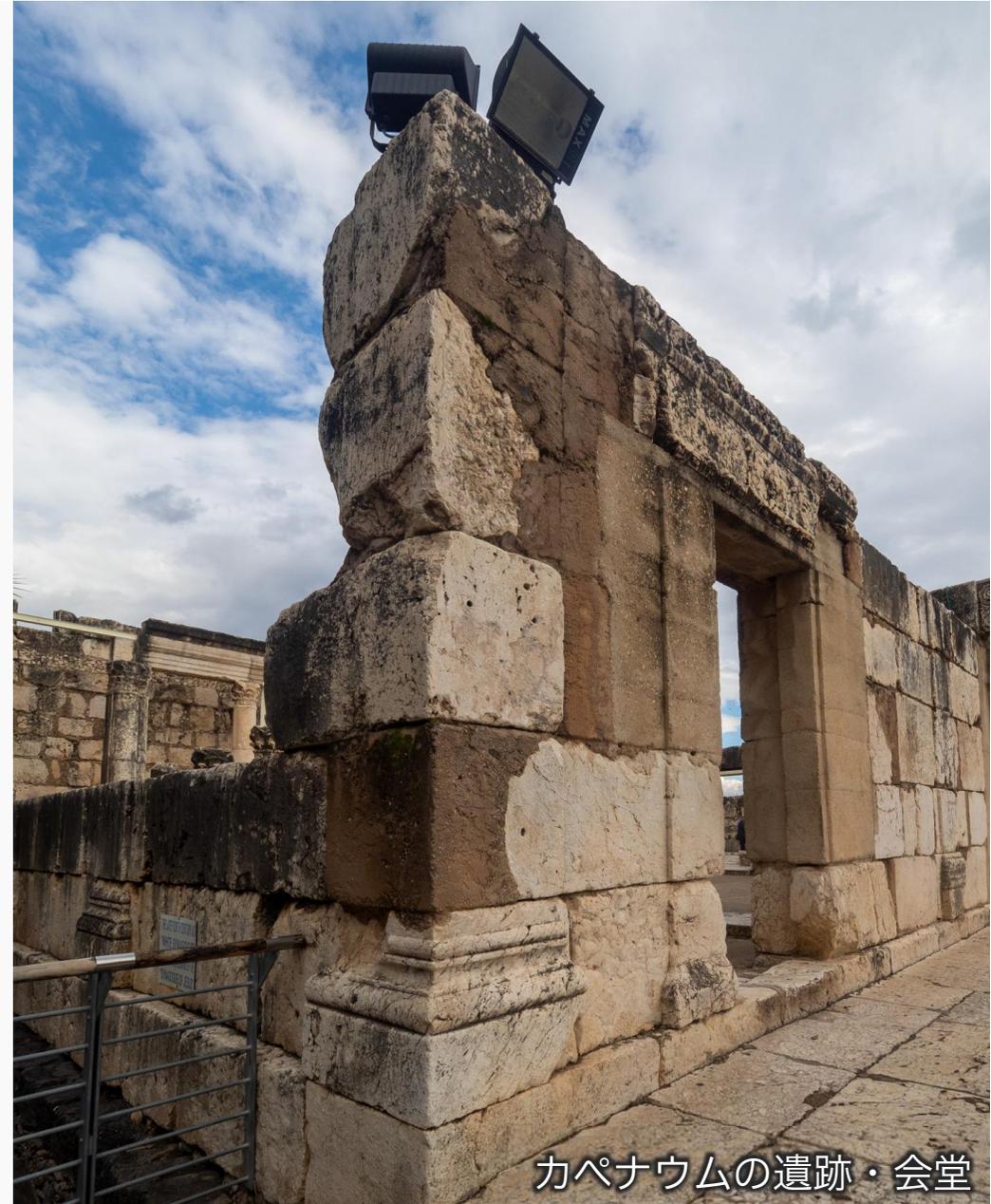


カペナウムの湖畔

本編 つぎはぎ マタイ9:16

だれも、真新しい布切れで古い衣に継ぎを当てたりはしません。そんな継ぎ切れは衣を引き裂き、破れがもっとひどくなるからです。

- 新しい布を洗うと縮むので、のびきった古い布が裂けてしまう。
- メシアの新しい教えは、古い教えにつぎはぎできない。



カペナウムの遺跡・会堂

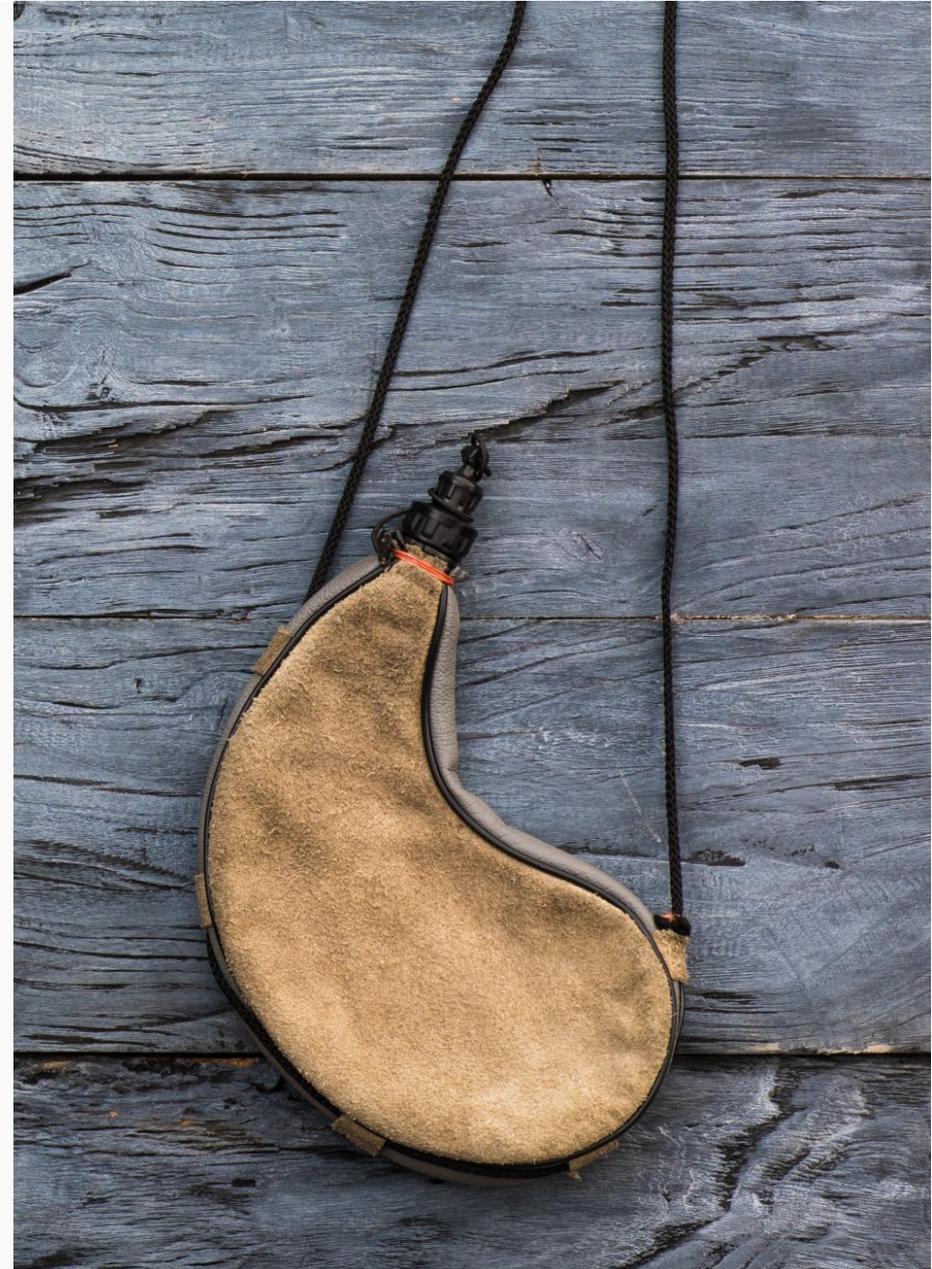
本編 新しいぶどう酒 マタイ9:17

「また、人は新しいぶどう酒*を古い皮袋に入れたりしません。そんなことをすれば皮袋は裂け、ぶどう酒が流れ出て、皮袋もだめになります。新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。そうすれば両方とも保てます。」

*発酵の膨張力 → 栓も飛ばすほど

新しい皮は伸びて膨張に耐える

■ メシアの教えを受け入れるためには、心を一新させる必要がある





Ⅲ. まとめと適用

主の呼びかけに応えた者とは？

カペナウムの湖畔

マタイの召命

■ 神殿で、栄光の主に使えたレビ族の末裔が、取税人に!!

➔ イスラエルの墮落もここに極まれり!!

■ ローマの傀儡、イドマヤ人のヘロデ大王の悪影響は死後も。ヘロデ派の支配。当時の大祭司も、政権の息がかかった俗物。

➔ マタイは、不遇のレビ族だった？

■ どん底のマタイを、主イエスは弟子に招かれた。

➔ 即答したマタイには、応じる備えがあったのだろう。

イエスの話、行動を、見聞きし、心に刻んでいた?!

ホセア書からの引用の衝撃

■ 罪人と食事をするのか？ 難癖をつけたパリサイ派の律法学者。

■ イエスは、ホセア書を引用して応酬。

➔ 姦淫の女と結婚し、イスラエルの霊的姦淫を訴えたホセア。
あなたがたは偽善者だ。最悪の罪人だ。ということ。

■ 忍耐強く妻に接し、導いたホセアに、メシアの姿が重なる。

➔ 自らの罪を認め、メシアに従った者に主の報いが与えられる。

ホセア書6章は、立ち返りを促す章

■ホセア書6:1～3

さあ、【主】に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、癒やし、私たちを打ったが、包んでくださるからだ。

主は二日の後に私たちを生き返らせ、三日目に立ち上がらせてくださる。私たちは御前に生きる。

私たちは知ろう。【主】を知ることを切に追い求めよう。主は暁のように確かに現れ、大雨のように私たちのところに来られる。地を潤す、後の雨のように。

ホセア書が最後に記す、イスラエルの民族的回復

■ホセア書14:4～6

「わたしは彼らの背信を癒やし、喜びをもって彼らを愛する。わたしの怒りが彼らから離れ去ったからだ。

わたしはイスラエルにとって露のようになる。
彼はゆりのように花咲き、レバノン杉のように根を張る。
その若枝は伸び、その輝きはオリーブの木のように、
その香りはレバノン杉のようになる。

ホセア書の結び

■ホセア書14:9

知恵ある者はだれか。その人はこれらのことを悟れ。

悟りのある者はだれか。

その人はそれらのことをよく知れ。

【主】の道は平らだ。

正しい者はこれを歩み、背く者はこれにつまずく。

人を二分する、メシアの教え

■メシアの行動、教えは、イスラエルを二分していく。

→つまづいて、拒絶する者

→打ち砕かれて、立ち返る者

■打ち砕かれた者に、主イエスの教えは染み通っていく。

妨げる心が取り除かれた者には、主の道は平らだ。

■主が人をつまづかせるのではない。

人は、自らの罪につまづく。 古い布、古い革袋は、私たちの心。

★ 主の呼びかけに応えた者とは？ ★

■ 取税人に身を落とし、**罪のどん底**にいた、レビ族の末裔マタイ。
主の目には、かつての私も同様だ。

■ 「わたしに従いなさい」と、主が、私にあなたに呼びかけられた。
福音を信じたとは、**主の招きに応答した**ということだ。

■ 主イエスの**弟子としての使命**が担わされていることを覚えよう。
脱ぎ捨てた古い衣に執着するな。キリストの衣に包まれよう。

主の呼びかけに応えたからこそ、私の今がある

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、
23_マタイ福音書_9章9～17節_マタイの召命_250309.pdf

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたことを、信じます。

つみ そこ わたし しゅ しめい め
罪のどん底にいた私を、主イエスが使命に召してくださいました。

わたし でし う くだ こころ しゅ おし きざ
私は、キリストの弟子です。打ち砕かれた心に主の教えを刻みます。

ころも み あたら こころ つか
キリストの衣で身をまとい、新しい心で遣わされます。

う かわ たましい であ わたし もち すく みちび
飢え渴く魂と出会わせてください。私を用いて救いに導いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」